



あまのこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは

いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは

天のこゝろをいふは
いふはこゝろをいふは

くねしのあらう宇屋を海
 たふの夜の目にはくさ
 ちんちんちんちん
 四方瀧水



五
 智
 皇

の
 の
 の

の

の
 の
 の



とよみ

特流天皇

春のあめ

のし

のけき

の

衣の

うさのりとのひとまろ

柿中人磨

見せも

ひも

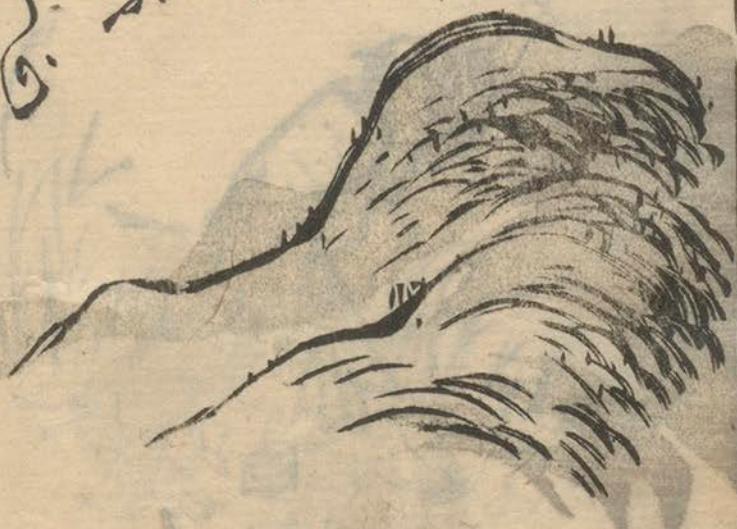
の

の

あ

し

の



山邊赤人

神

神棚



ぬののうめい
ゆき
うき

懐九大夫

おの

おの

おの

おの



中内言家持

蕎麦賣の

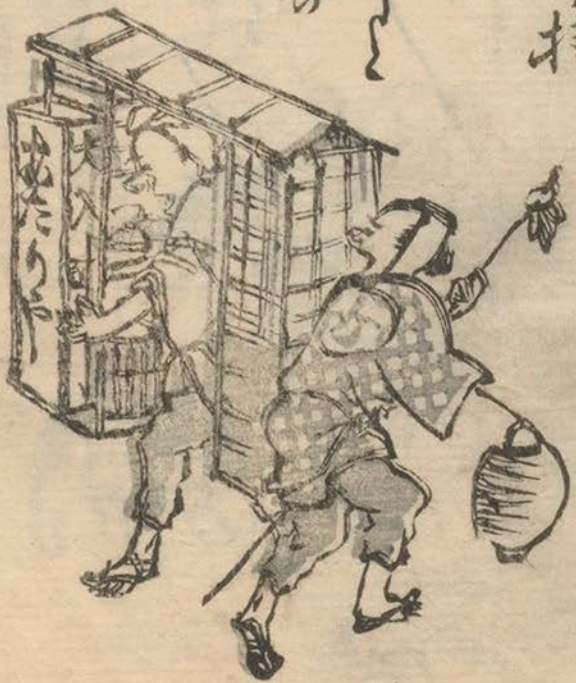
聲の

まはる

いれ

夜

めけ



母倍仲磨

ち

是れ

ち

こ

月



とげ

喜撰法師

凡

世に

子

く

世に

人



小野小町

玉

く

く

百

家

あ

せ



蟬丸 せみ まる

傾城の こぎょうの
 の の

う う

あ あ

を を

屏 びん



今議 こんぎ い皇 たいこう

風 ふう の の く く 日 ひ 谷 や 枝 え 牙 が の の

人 ひと の の 士 し 苦 くる ま ま

海 かい の の

海 かい

さ さ



僧正遍照

神樂堂

うねの
櫓みの

お初梅

ししめのはな

あざ

しめ



陽成院

ちん

は

あひ
あひ
あひ

あひ
あひ
あひ

あひ
あひ
あひ



河原左大臣

すゑの

悟氣

ゆきのこころ
土まゝ

いづれそめ
我あーちふ



光孝天皇

やうめ

ふゆの

いん

あつちで
いん

ゆき
い

ゆき



中
仲言のふ

あともら
子持のふ

あつたふ

あつたふ

あつたふ

あつたふ

在原業平朝臣

夏
あつたふ

あつたふ

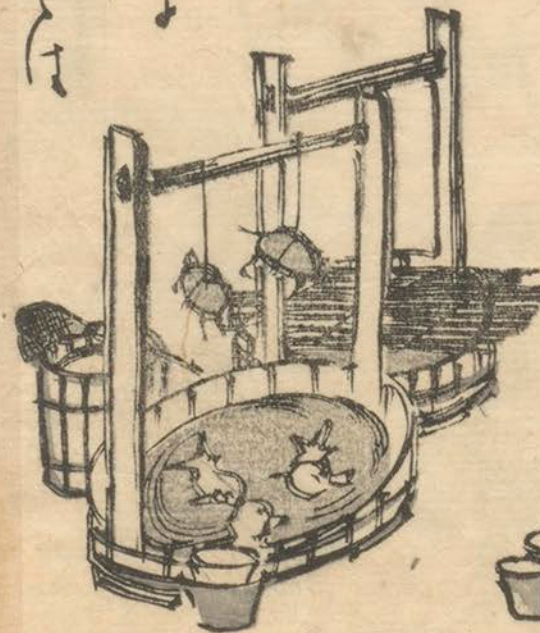
あつたふ

あつたふ

あつたふ

あつたふ

あつたふ



つづきのしゆきあき
藤原敏行朝臣

居候酒の

もどりの
駕の

ゆめ
まの
うの
人
え
ん

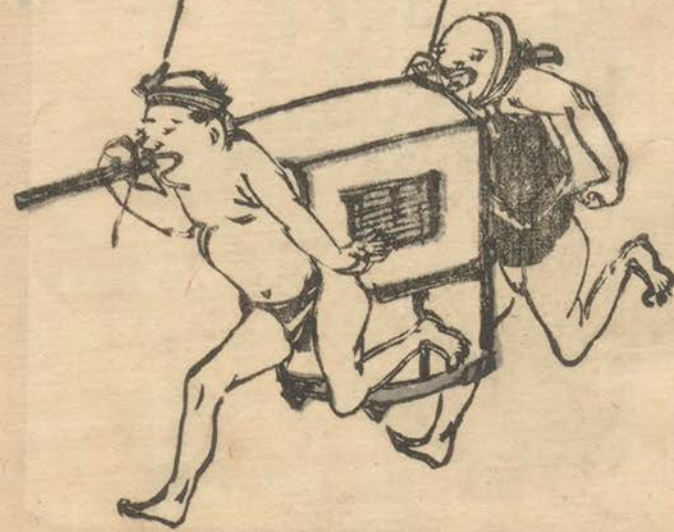
い
執

身
常

持
主

さり
め
の

い
し
や
と



元良親王

やりてゐる

うしろ

作られ

せられ

身と

つと

お

素性法師

弟

二十

年

の

法師

う



かんやの 中い 下
文有 康美

入相の

清

さきま

ら

む 心 風

ら



おふえのちこし
大江子里

沸

ちや

多
のさき

我

ひ

林

わ



菅家

野もふし

そのまゝ

ふし

め

いふの

秋のまゝ

三條右大臣

あいの

枕の

うさぎ

人

あゝ

うね



父信公

大老

家

大

世

と一

の事



中納言

兼輔

子

あ

おや

い

あ



あ

源宗千朝臣

さやう

まのよの

つを

人月

あも

えぬ

ゆり

九河内所植

新

掃除

油

おき

せ

さく



士生忠峯

たの
き
の
ま

馬の

ま

やめ

暖

ま

りの

坂上足助

い

の曲輪の

ま

里

め



か

か

春道の樹

庭の池

松の葉

足跡

花の香

紅葉の



紀友則

洗心

きぬ

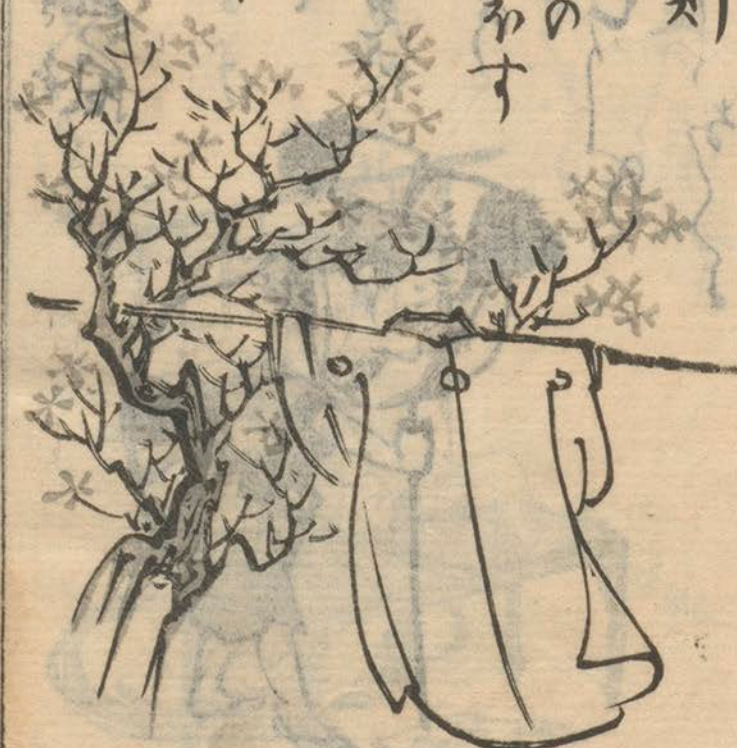
掉

おの

志

の

ら



藤系魚風

長生も

おこし

美神の

おむし

なあ



紀貫之

かくむし

世帯

おこし

年

おこし

むし

おこし



清原深養父

いしりい

いしりい

いしりい

いしりい

いしりい



文

朝康

鬼

外

福

肉

いしりい

いしりい

いしりい



とよハ

名^な通^と

おそ^おろ^ろ余^あ

け^けま^ま醫^い生^{せい}

分^{ぶん}と^とま^ま

人^{ひと}の令^いの^の

と^とと^とと^とと^と

系^{けい}議^ぎ等^{どう}

叮^{てい}時^{とき}も

あ^あれ^れぬ

あ^あれ^れ

牡^{むす}丹^{たん}

深^{ふか}い

あ^あれ^れと^と

人^{ひと}のあ^あい^いと^と



十九



平兼威

む 歯

ようろう

あき

頼む

あや

あや

人の



士生忠見

一の富

中

の

けん

人

これ

あや

あや



清系之補

生

天地乾坤

渾沌未分

未のつじ

浪こさど

中納言敷忠

後悔を

先きなき

老の坂

む

あ

お



中^{ちゅう}の^{ちん}え^{えん}ね^{ねん}ん

親^{おや}の^の金^{かね}

い

い

い

人^{ひと}も^も必^{かならず}を^を

恨^{うら}み



謙^{けん}徳^{とく}公^{こう}

両^{りょう}親^{しん}の

あ^あま^まの^のい^いは^は

あ^あま^まの^のい^いは^は

あ^あま^まの^のい^いは^は



曾根好忠

金年

欠

切

忠のこころ



恵

指

林

人

一



源重之
みかもの一けやい

焼
やき

研
いじめる

と
おのけ
あ
おのけ
おのけ



大中臣能宣親長
おののちのすけのちか

と
あ
あ

と
あ

と
あ

と
あ

と
あ

と
あ

と
あ

と
あ



ふぢつらのよいたり
藤ふと我孝

縫は業

又のよまの

日のひ

長くも

あし

藤原実方朝臣

おし

ふす

親の慈愛

あし

あし



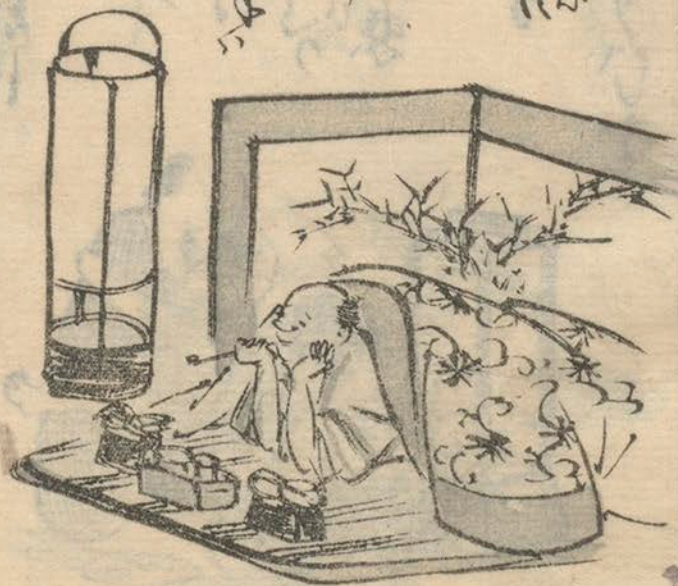
かぢいこのこちのふ
 藤京道
 おた

花
 花
 花

ひ
 める
 夜

才
 恨
 め

の
 き
 む



う
 大
 将
 道
 徳

あ
 れ
 の

苦
 累
 十
 年

い
 ひ
 一
 束

お
 一
 束



後同三目母

老^{ちい}ら^ら

人の^{よひ}数^ひ

ら^らせ^せも

う^うら^らの

命^{いのち}も^もら^らな



大納言公任

之^の侍^{さむらい}ら^ら

紅葉^{もみぢ}ら^ら

そ^の世^よも

久^ちこ^こも

あ^あれ^れ

あ^あを

き^きこ^こえ^えれ



和泉式部

鞍之

成

うみ人

はけ
のせ

いまいとたひ
七一の

おとすも
うも



世系式部

まづその

中子の内乃

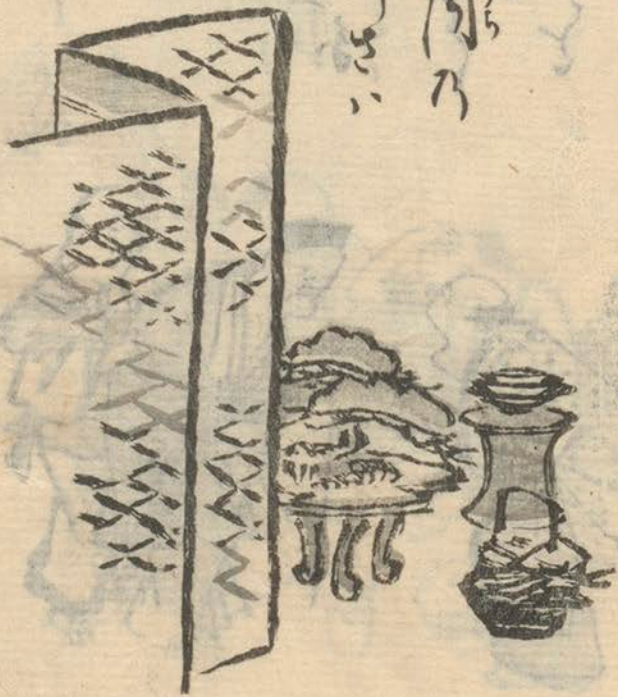
やう

おま

うれ

夜の

月



大正三佐

老ぬれい

子ほふ

あも

いけ下
人

うもれやい



赤深浦門

迷い

いね

茶碗酒

ういぬ
月を
うね



小式部
内侍

星の惑

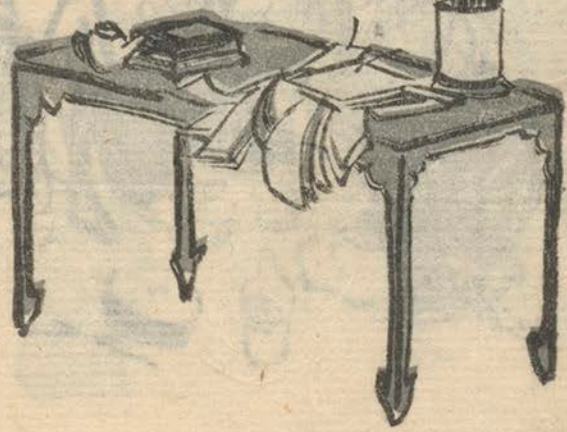
年

一ふの

そのほ

まゝぬも

天の
まゝ



伊勢大捕

楽
た
ミ
ガ
キ

と

人の
セ
重

重

り
あ
い
る

あ
い
る



せいせうなげん
清少納言

いふたし

えささ

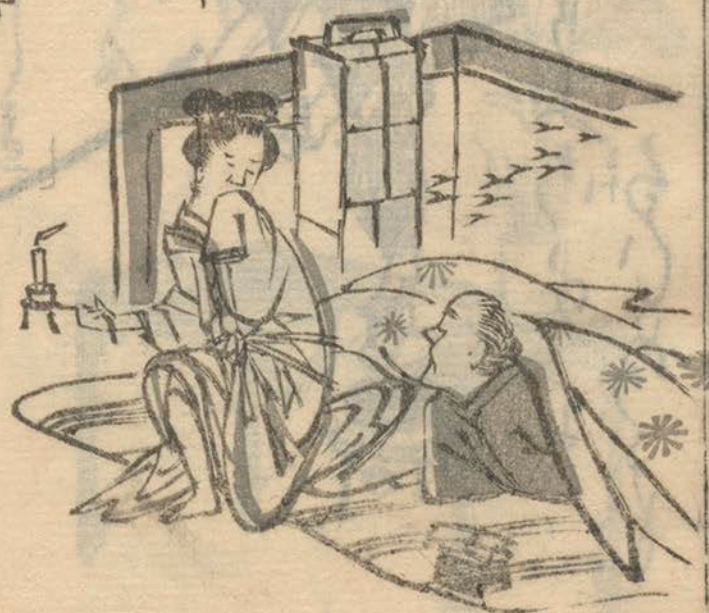
あひ

そげ

わ

ふさ

せき
あゆ
ゆ



さき
あき
かき
左京又右推

あき
あき
あき

あき
あき
あき

あき
あき
あき

あき
あき
あき

あき
あき
あき

あき
あき
あき



両王の



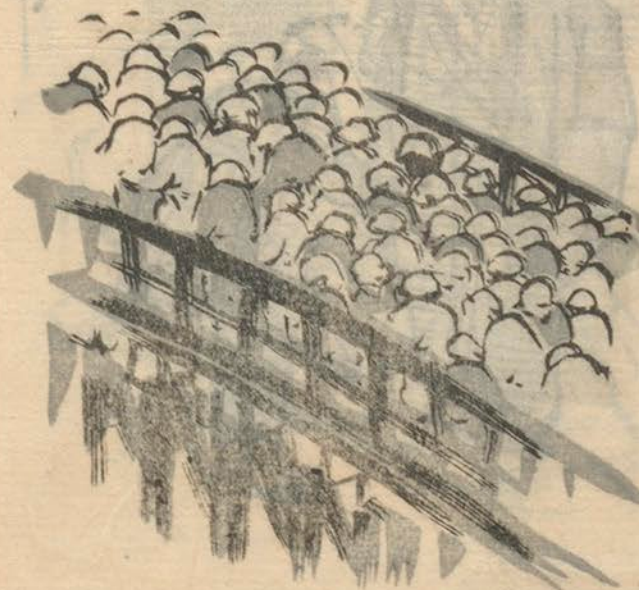
並一割

千人金の

ハハハ

瀬の

権中納言定頼



相模

誠

傾城の

赤

天

と



赤

赤

さきのいひよりききし事なり
 前大僧止りて

初今

いふ

客人の

えより

あふ人

な



周防内侍

持もの

親の世話

いふ

文

いふ



えぞの
二條院

眞のや
花

えぞ

えぞの
花
えぞの
花

能
周法

能
周法

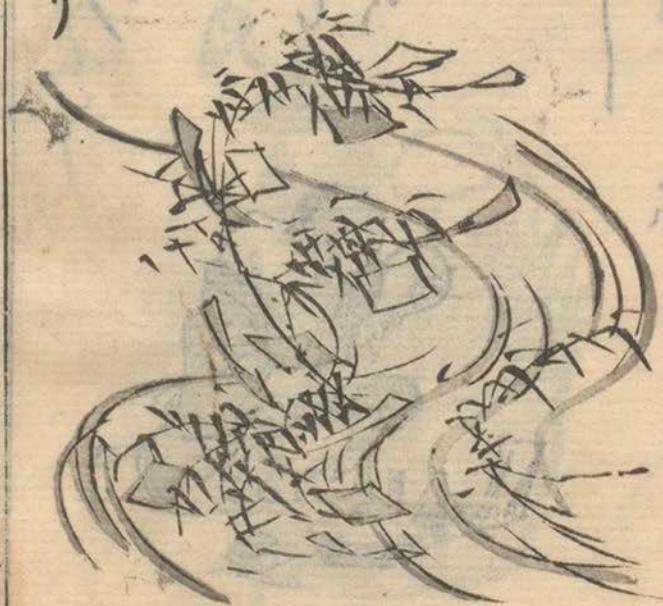
能
周法

能
周法

能
周法

能
周法

能
周法



良暹法師

聖隣

いふい
はるの

い
はるも
おろ

村のゆめ
き

大納言
経作

釋宗の

西の

一本の

い
まの

竹
風
ま



秋子内親王あはれ

生あま

はい

袖の

めれも



前中内

区

遠目境

くあ

あま

あま

あま



源氏頼朝長

いふくうしのづき
風

まふ

いふく

い

もの



あちつもの
藤系基俊

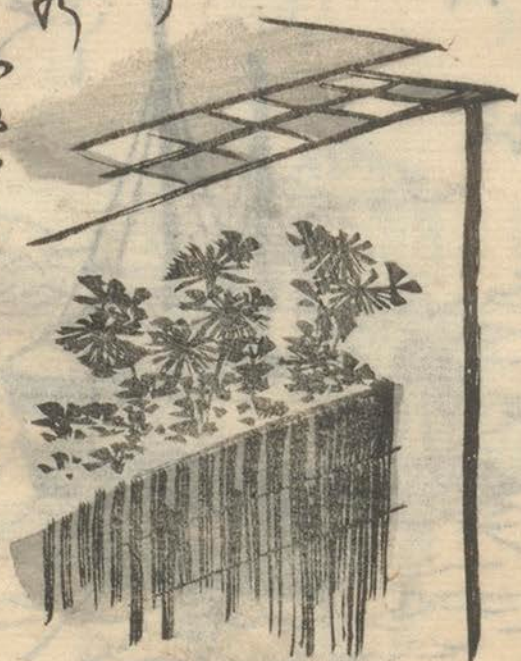
きく
菊も

あひ
林

あひ
老

あ
の

あ
林



風吹く

さぐさぐ

さぐさぐ

雲

沖

海

法性寺入道前関白大政大臣



崇徳院

春の族

紀の族

大

道

つれ

つれ



源兼昌

莫い家

巾着も

持も

親心

いく夜

ぬきぬき

戸のササギ

左京太史顯捕

らきふ

人め

き

れ

は

う

や

ら



待賢門院堀河

うさぎ

あま

うさぎ

お月

うさぎ

うさぎ



後徳大寺左大臣

それ鞠

あま

うさぎ

うさぎ

うさぎ

うさぎ

うさぎ



道周法師

姉

うーい

波上

うーい

あーい

皇太后宮大夫後成

吸あ

あ

あ

あ

あ

あ

あ



おかしな
おかしな

おかしな
おかしな

かたがは
おかしな

てきやうな
おかしな

おかしな

おかしな

おかしな

おかしな

おかしな



おかしな

おかしな

おかしな

秋あきづゝ

床蓮法師

鯨くじらのうらの

いふいふの

ははい

ま

のの

木きのの



皇太子門院
白河

錢せに金こ

[illegible]

餘

武子

内親王

あ

三

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

志の

二

しん

ト
フ
フ
フ
フ



殷富門院大輔

中
 之
 の
 時

徐中

之

如法

三

三

江戸東橋板政大政大に

夜
や
む
ら

あふちの

問
答
表

衣ころも

招之福也



さん
ぎ
ま
ま
子

何き
むき

い
ち
ま
の

月夜の歌

卷之五
 五

あはれなり

大徳寺
 大徳寺止慈園

折おく

九

法モウの巻

我々
松子

その
袖



かゝるさまのいふ事だや
へりあふたふた

ぬむの

是也

五
中
書
と

2
 3
 5

部

三

権中卿之定家

いさしき

桑名^{くわな}の^ち里^{さと}の

蛤

燒節

り
わ
の

永
ち
れ
は



正二位家隆

三時やんや

大新

さくら

さくら

さくら

さくら

さくら

後白河院

乞食

あま

あま

あま

あま

あま

あま



あま

あま

順法院

不孝

親

わ

し



い

月

あ

河

住



朝夕をなれり小倉の如歌をねあそ
 競ふふしとふれいとふしあなまめ
 もあふと友とものすえともゆふすあ
 るの閑い夕歌ふまゝ魚の音あは
 一玉の首鹿をふけあめすといふまゝ
 といえふふとめてそは雪歌の跡と題ス
 しいす 春日 鱗の鰯戯本

述者

越谷山人



画工

眉山竹孫



35438



江戸地本

屋

又がふまゝ

竹内孫八板

乙子

